

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103136
法人名	医療法人 創実会
事業所名	グループホーム はなの家
所在地	松山市六軒屋町3 - 19
自己評価作成日	平成21年 10月 14日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

御利用者の体調面で医療が重要になってきている現在、母体の病院医師、看護との連携が取れており速やかな対応が出来る。
また、必要時病院へ同行支援や訪問診療も行っており、穏やかで安心した生活を送ることが出来るようにしている。
職員は研修や勉強会に参加して介護技術や知識のスキルアップに努めている。
災害に備えて毎月初期消火、通報の避難訓練を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用者には野菜の下ごしらえ、テーブル拭き、盛り付けをしていただいている。利用者に食べたいものを聞き、回転寿司などの外食に行くこともある。調査訪問時、ペラダには、つるし柿が干してあり「好きなんよ、食べ頃になったらこっそり食べよ」と楽しみにされている方もあった。利用者の誕生日には、ご本人のお好きなメニューでお祝いされており、経管栄養の方も、医師と相談しながら無理することなく、口から食べることを楽しむことができるように支援されている。
トイレにタオルを準備し、トイレ介助の際には、ひざにかけたり、利用者の状態を見ながら、外で待つ等、プライバシーに配慮されている。調査訪問時、職員は利用者と、個人的なことについての話は小さな声でされている様子がうかがえた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームはなの家

(ユニット名) 梅「2F」

記入者(管理者)
氏名 渡部 静佳

評価完了日 平成 21年 10月 14日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 毎日申し送り時に事業所と2Fユニットの理念を復唱して日々の業務の中で実践出来るよう意識付けている。	
			(外部評価) 「ぬくもりは我が家のように」という理念のもと、各ユニット職員で話し合い、ユニットごとの理念も作成されており、日々の申し送りには、声に出して読み上げておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 運営推進会議で地域の方々から、地域の行事や活動を教えて頂き参加をしたり、他のグループホームの夏祭りに参加したり、はなの家の行事に招いたりして交流を図っている。	
			(外部評価) 味酒小学校のクラブ活動「ふれあいクラブ」の生徒が定期的に訪問してくれており、利用者と折り紙をしたりゲーム等をして楽しませてくれている。地域のサロンに利用者とともに参加して、地域の方との交流をされている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 主体病院の医師が認知症の講演をしたり、地域中学校の生徒が職場体験として来られた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>会議の中では御利用者の日頃の暮らしぶりを報告したり、意見交換、情報交換をしてサービスを取り組んでいる。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議では、事業所の行事等の活動報告をされたり、時には職員が外部研修で知り得た、おやつを試食していただいたこともある。地域の方から地域の行事の案内をいただいた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市の社会福祉協議会や市の担当者とは、研修や運営推進会議などで関わりを持ち協力してもらっている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>市の担当者に、ご家族からの相談ごとや利用者の生活支援について相談されることもある。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束については、必要な方には御利用者の御家族に状況を説明、相談をして同意書を頂いている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>現在は、経管栄養のチューブを抜いてしまう方についてミトンを使用しているが、ご家族と相談しながら、利用者の気が紛れるような工夫を重ね、少しでも、ミトン使用の時間が短くなるように取り組まれている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>虐待はしていない。行き過ぎた行動になりつつある時は職員間で注意して防止に努めている。</p>	
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員は権利擁護に関する制度について、ミーティング等で学んだ。</p>	
9		<p>契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>契約前の相談や見学の際に、不安や疑問点など十分に説明をして、理解して頂いてから契約を結んでいる。また、介護報酬の改訂があった時には家族会等で説明して理解してもらっている。</p>	
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>年3回ある家族会で、意見要望や話し合いの機会がある。また、苦情のある時は管理者が窓口になっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>家族会時には、ご家族も利用者と一緒に行事を楽しまれたり、事業所からは外部評価結果や、介護保険制度の改正時等は詳細を説明されている。季刊誌「はな便り」で、行事、職員の異動、運営推進会議の内容等を報告されている。利用者個々の誕生日には、ご家族も一緒にお祝いできるように相談しながら支援されている。事業所での生活の様子の写真は注文ができるようになっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ミーティングの時意見や提案を聞く機会を設けている。	
			(外部評価)	
			管理者は、職員個々の必要性等も踏まえて外部研修の受講をすすめておられる。職員は毎月のミーティングで、研修時に学んだことを報告されており、職員からの提案で、車椅子の利用者の移動時に使用する「スライドボード」を購入されていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			代表者は昼食を一緒に食べられたり、話をされたりと職員の状況を把握してくれている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			全職員が研修を受講出来るよう配慮してくれている。受講後は勉強会で内容を周知している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			地域のグループホームの集まりや、相互評価に参加して他の職員との関わり、交流を深め情報交換をしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居前に御本人に見学をして頂き、日常の様子を見てもらい不安があれば安心して頂けるよう説明している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	
			<p>事前に御家族との話し合いを持ち、御家族との信頼関係が築けるよう努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>現在一番必要なことは何かを見極めて、他のサービスも含めて対応している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>日常の中で教えて頂きながら、共に支えあう関係を築いている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>御家族の来訪時には、御本人の様子を伝え相談したり希望を聞き共に支えていけるような関係を築いている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>御本人がなかなか外出出来ない状態になっているが、御家族とたまに外出に行かれたりされる。電話があれば御本人に出て頂きお話を少しでも出来るように努めている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>職員とともに地区の敬老会に出かけ、ご家族が日舞を舞う姿を楽しまれた。又、小学生のお孫さんの運動会を見に行かれた方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 御利用者同士が、穏やかに過ごせるよう座る場所を考慮したり、コミュニケーションが図れるよう間に入って支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所されてからも、花まつりに招待して来て頂いたりして話し合える時間を持っている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 御本人からの思いが分かりづらくなっているが、日常の会話や表情で汲み取り職員間で話し合ったりして把握している。	
			(外部評価) 職員は、利用者がしゃべりやすくなるよう、「にこにこ聞き役になる」ようにかかわり、利用者の思いの把握に努めておられる。	今後、職員は記録の研修に参加する予定になっており、書式等も工夫していくことを検討されている。さらに利用者個々のアセスメントの充実を図り、ケアにつなげていかれることが期待される。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 御家族に入居前の生活歴を教えて頂き、日々の暮らしに役立てている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 身体の状態は毎朝調べて、一人ひとり体調に合わせて暮らせるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 職員間でミーティング時話し合い介護計画原案を作成し、御家族とそれをもとに話し合い意見や要望を聞き現状に即した介護計画を作成している。	
			(外部評価) 担当職員がご本人、ご家族の要望を聞き取り、カンファレンス時に話し合い、介護計画に採り入れて作成されている。ご家族には、計画について内容を確認していただき、ご意見をうかがっておられる。毎月の職員ミーティングでモニタリングをされている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々個人観察記録や介護計画表・チェック表を記入し、職員間で情報を共有して話し合い見直しに活かしている。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 満床のためショートステイは出来ていない。状況によって御家族の宿泊や食事など対応出来るようにしている。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域の民生委員、地区の役員さんより情報を得ており、参加出来ることを見つけて楽しめるようにしている。また、訪問マッサージ、移動美容車など利用している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>受診は御家族と連絡を取り希望の病院へ行っている。 日常は主体病院の医師が往診に来て体調管理をしてい る。また、訪問診療として、歯科・眼科・皮膚科を利用 している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>休日以外は、母体病院へ「物療」に行かれる方がい る。敷地内に母体病院があり、24時間対応してくれ る。以前からのかかりつけ医への受診は、ご家族が付 き添ってられる。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	(自己評価)	
			<p>ユニットの職員の中には看護師がおり、介護職員と共 に協力している。また、主体病院の看護師とも連携を 取っている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>入院時には病院医師、御家族と相談している。お見舞 いや洗濯物の交換にもこまめに行って、様子を見に行 き御本人にも安心して頂いている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	
			<p>入院時には病院医師、御家族と相談している。お見舞 いや洗濯物の交換にもこまめに行って、様子を見に行 き御本人にも安心して頂いている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>重度化したり終末期ケアの場合は、医師、御家族と話 し合い協力しあって行っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>重度化したり終末期ケアの場合は、医師、御家族と話 し合い協力しあって行っている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>医師である法人代表者の勉強会が行われている。利用 者の状態変化時には、必要に応じてご家族や医師を交 えて話し合われており、今年、看取り支援を行った 際、ご家族は、食事介助されたり、居室に宿泊して、 ともに協力しながら看取られた事例がある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 研修に参加して、勉強会で定期的に職員全員が繰り返し行っており、緊急時適切な対応が出来るようにしている。またマニュアルを作成している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 毎月初期消火、通報の避難訓練を行い、いざという時慌てないようにしている。また、運営推進会議で消防署や地域の方と話し合い協力体制が出来ている。	
			(外部評価) 事業所の敷地内は全面禁煙になっている。3~4ヶ月に一度、実際に布団等を使用して職員で避難訓練をされている。運営推進会議時に救急法、AEDの使い方の講習が行われて、今後は、消防署の方に勝山地区の避難場所について等、講演していただくようになっている。	建物の2, 3, 4階部分にホームがあり、車椅子を使用されている利用者も多く、職員の不安もある。いざという時に駆けつけてくれるような協力者を増やし、又、いろいろな場面を想定した訓練を行い、利用者、職員の安心と安全に向けて取り組みをすすめていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個々の人格を尊重し、他者に対して恥ずかしい事などプライバシーや自尊心を傷つけないように配慮している。	
			(外部評価) トイレにタオルを準備し、トイレ介助の際には、ひざにかけたり、利用者の状態を見ながら、外で待つ等、プライバシーに配慮されている。調査訪問時、職員は利用者と、個人的なことについての話は小さな声でされている様子がうかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 認知症や体調不良などが進行してなかなか自己決定の表出が出来にくくなっているが、日常の中で思いや希望を汲み取り自己決定出来るようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの生活のリズムがあり、また、日々の体調に合わせた生活を送ることが出来るようにしている。体調の良い時はなるべく離床出来るようにして活気ある生活を送れるよう支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 日頃、その人らしい清潔な物を着て頂き行事や外出時は、よそ行きの服装選んで頂いたり、髪のカットの長さやパーマ、毛染めなど希望通りにしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 誕生日、母の日、敬老の日、お正月など年中の行事や季節にあった食事を取り入れている。食事の準備や片付けの出来る御利用者にはいつも手伝って頂いている。	
			(外部評価) 利用者には野菜の下ごしらえ、テーブル拭き、盛り付けをしていただいている。利用者に食べたいものを聞き、回転寿司などの外食に行くこともある。調査訪問時、ペランダには、つるし柿が干してあり「好きなんよ、食べ頃になったらこっそり食べよ」と楽しみにされている方もあった。利用者の誕生日には、ご本人のお好きなメニューでお祝いされており、経管栄養の方も、医師と相談しながら無理することなく、口から食べることを楽しむことができるように支援されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じ、その人に合った量や形状にしている。食事や水分の摂取量をチェックしており少なくならないように支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後必ず口腔ケアをしており、口腔内をチェックしている。また出来る事はして頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄パターンを調べ、時間誘導や訴え時の誘導で失敗を減らしたり、夜間はオムツでも日中は紙パンツに替えてトイレを利用出来るようにしている。	
			(外部評価)	
			職員は、利用者個々の排泄パターンを記録して把握に努め、時間で声かけされ、トイレでの排泄ができるよう支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			排便を促すような乳製品、食物繊維の多い食材を取り入れている。	
			(外部評価)	
			その日の御本人の状態に合わせて入浴日を変更している。また、出来ない時は清拭や足浴、手浴を行っている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			ご自分の石鹸やシャンプーを準備されている方もあり、入浴時間の希望を言われる方は、希望の時間に入浴できるよう支援されている。現在、シャワー浴や清拭での支援になっている方がある。	ご本人、ご家族の入浴の希望や要望等も聞きながら、主治医とも相談して湯船で温まる等、ご本人がくつろげる入浴を支援していかれてほしい。
			(外部評価)	
			御本人の状態や、希望に合わせて自由に休んでもらっているの安心して休息を取っている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			御本人の状態や、希望に合わせて自由に休んでもらっているの安心して休息を取っている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) お薬が処方された時、目的、副作用、用法、用量の処方箋が出ており、職員は記録し申し送り理解している。御本人の状態に合わせて粉末にしたり、むせ込まないようにトロミをつけたりして飲みやすいようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生活歴を御家族より教えて頂いたり、生活の中で御利用者の楽しみ事や気分転換を見つけて支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 外出は出来にくい状況にあるが、出来るだけ季節折々の行事に参加して楽しんでいる。日々の生活の中で近辺を散歩したり、買い物に行っている。お花見は全員で参加することが出来た。	
			(外部評価) 事業所の周囲の散歩や、近くのスーパーやホームセンターに買い物に行かれたり、バラ展やサツキ展に出かけることもある。誕生日には、利用者の希望でご自宅で宿泊された方もおられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 日頃職員はおこづかいを預かり管理しており、必要な物を御本人に聞き購入している。また、パン屋が来た時や日用品、おやつを共に買いに行ったりしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 御家族より電話が掛かってきた時には、自らお話をしている。希望があった時には電話を掛けている。また、手紙が来た時には読んだりして対応している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>台所はオープンにしており、食事作りの匂いや音が伝わってきたり、テーブルにはその時々季節の花を飾ったりしている。普段風通しよくしているが夏は冷房、冬は床暖房をして居心地のよいように過ごしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間の壁面には、職員の名前入りの写真や事業所での1年の行事予定表が貼ってあった。調査訪問時には、クリスマスツリーが飾られていた。又、干支の絵が貼ってあり、その下には利用者の生年月日と名前があり、時にご自分の年齢のこと等がおしゃべりのきっかけになっている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビングにソファやテーブルを置いており、一人になりたい時にはローカ隅のソファや部屋で過ごしてもらっている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入居時に御家族に使い慣れた物を持って来て頂いたり、御本人に合わせた物を置いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>お孫さんの結婚式の写真や、ひ孫さんの写真を飾っておられる方もあった。趣味の海外旅行での写真や、その際に買って来られた記念のものを置いておられる方もあった。部屋でラジオや歌を聴いて過ごされる方もある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>生活の中で危険となるような物は置かないようにして、安全に生活出来るようにしている。</p>	